

石狩市公立小中学校事務職員第72回（今年度第1回）学校間連携会議議案

2016年5月12日（木）14:00～

於：りんくる301・302会議室

- 1 議長挨拶
- 2 経過報告
3月18日 第71回連携会議
4月11日 教育長挨拶（協議会：会長・事務局長・会計、連携会議：事務局長・事務局次長）
- 3 2016年度役員体制の確認 ～ 別紙1
- 4 2016年度の具体的取り組みについて ～ 別紙2
- 5 各グループ活動計画について ～ 別紙3
※別紙3の活動原案についてグループ討議のうえ全体確認。
- 6 「平成29年度 石狩市教育予算要望書」に向けた具体的作業について ～ 別紙4
- 7 実践交流
- 8 連絡事項
 - (1) 会議日程等の連絡方法について
 - ①連携会議に関する連絡・資料提出等は原則として電子メールを利用します。
※会議案内や議案は原則として学校アドレス宛てに送信します。
 - ②連携会議のメールアドレスは、tarukawa@educet.plala.or.jpです。提出物などの送信はこのアドレスをお願いします。
 - (2) ホームページの活用について
 - ①会議案内や会議資料については連携会議ホームページに掲載するので、いつでも確認することができます。ホームページアドレスは<http://irenkei.sub.jp>です。
 - ②ホームページの中の「会員のページ」に入るのにはパスワードが必要です。IDはirenkei、パスワードは*****です。
 - ③ホームページには掲示板も設置しています。掲示板のパスワードはjohrtvvです。
 - (3) 「石狩市公立小中学校の概要」（HP掲載資料）の更新について
来週、データをメールしますので数字が変更になった部分を訂正の上、事務局までメールを送願います。5月19日（金）まで。

<別紙1> ‘16年度連携会議役員体制

議長	小 谷 千 里	花川小
事務局長	坂 地 和 哉	樽川中
事務局次長	常 陸 敏 男	花川中
事務局員（研究）	佐 藤 信 明	双葉小
事務局員（調査研修）	小 村 秀 喜	八幡小
事務局員（予算要望）	寺 下 和 哉	花川北中

※上記の他石狩市公立小中学校事務職員協議会三役（会長・事務局長・事務局次長）をもって役員会を構成する。

3. 2016年度の具体的とりくみ

(1) 学校財政と学校事務の状況調査

①決算予算調査及び学校徴収金調査については継続して行う。また、可能な限り各学校における提案方法や提案内容についても資料化を検討する。

②学校徴収金調査については、学校財政全体との関係に注目し、公費負担増額と保護者負担軽減につながる調査および保護者負担の公費化とし、予算要望委資料にも反映されるものとするよう検討する。

③ミッション加配の事務職員の現状の交流や学校事務労働の現状を明らかにするとりくみを行う。事務局校におけるミッション加配の申請・報告書をHPで公開し変わりゆくミッション加配の現状の情報発信に努める。

※決算予算調査については、数字の結果だけでなく、提案方法や提案内容に踏み込んで各校の状況を分析します。また、調査した結果を各学校のとりくみに活用できるような資料化を目指します。学校徴収金調査については、校内とりまとめの状況や、申し合わせ事項の有無なども各校の変わりがないかあわせて調査します。

(2) 調査活動の分析にもとづく提言

これまでと同様のとりくみ手順で提言に向けた活動をすすめる。昨年は2つの提言の発表を行いました。今年度もいくつかの提言を行えるように取り組んでいきたい。また、今まで行った提言についても常時点検を行いながら必要に応じ提言内容の更新を行う。※提言内容については、日常実践のうえでの課題に基づくものを中心に、各校の意見を収集しながら決定します。

(3) 予算要望について

石教振事務部会の委託により、予算要望資料作成を行う。資料内容の検討は予算要望グループ会議の議論を経て、連携事務局として具体的作業を提起する。**今年度は昨年度の冬季研において交流しました消費税10%になった場合におけるデータを収集し予算要望資料へ掲載が可能か可能性を探っていきます。**

※基本的には、全道・石狩事務職員協議会の基本方針である子どもの教育権保障の観点でとりくみます。予算要望回答を分析し、実効ある予算要望書にするための検討を行います。

(4) 実践交流について

領域実践交流シートに加え、幅広く領域実践の交流を行う。また、市事協の委託により研究部と一体的に石教研二次集会及び石事協研究会レポート作成にとりくむ。

(5) 就学援助の手引きの作成について

調査研修部を中心とし、今年度中に就学援助の手引きを完成させたいと思います。学用品費のに取り組んでいきたい。合わせて問題点を検証しながら新たな提言ができるように

(6) その他

今年度も例年同様に協議会の事務局と連携して連携会議を運営します。

例年同様に二つの事務局の違いを基本的に協議会の事務局を研修と親睦を中心に対外の折衝を中心とした事務局運営を進めていく事とし連携会議の事務局は、学校事務業務推進のための共通理解と実践の場としての連携会議を各部の部長や部員と共に運営して行くことを念頭に置いて進めていきます。

＜別紙3＞ 各グループの活動計画について

2016年度 予算要望グループ 活動計画

1 所属メンバー

後藤（浜益中），常陸（花川中），飯島（花川中），沼田（双葉小），
中鉢（花川小），品川（花川南小），岡田（樽川中），寺下（花川北中）

2 活動方針

- （１）子どもの学習権保障の観点で学校予算の現状を調査・分析する。
- （２）予算要望委員会へ提出する資料の編集業務のため、各種企画立案を行う。

3 活動計画

（１）学校予算の調査・分析について

- ①学校徴収金や学校財政などについて必要に応じて調査交流をし、各学校における実践改善に努める。
- ②各会員が更に交流が必要と思われる事項などについては、内容精査のうえ、連携事務局に提案を行う。

（２）予算要望について

- ①予算要望の具体的計画について企画立案し、連携会議で決定する。
- ②「学校財政に関する調査」は、例年通り実施等の方向性については次回行う予算要望部会で検討する。
- ③昨年度の反省より、消費税が１０％になった場合、予算項目によっては学校配分予算を逼迫することが考えられるため、それらを要望書に盛り込んだほうがという意見が出ていたので、例えば消耗品費に対する印刷関連費の占める割合の調査項目を改善するなど具体的にどの項目を見直していくか、次回の予算要望部会で検討する。
- ④他に予算要望で取り上げる事項などがあれば、次回の予算要望部会で検討する。

＜別紙４＞「平成２９年度 石狩市教育予算要望書」に向けた具体的作業について

- １．２０１５年度の取り組み状況と反省について～第７０回連携会議議案を参照してください
- ２．２０１６年度のとりくみについて
２０１６年度の基本方針と具体的要望内容については、予算要望グループで原案を作成し次回連携会議で決定する。
- ３．スケジュール
 - （１）予算要望グループ会議（原案審議） ○月○○日
 - （２）基本方針と具体的作業の確認 ６月１０日 第７３回連携会議
 - （２）各学校の資料提出 夏休み明けを目途とする
 - （３）提出資料の確認 ９月２３日 第７６回連携会議